

■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白井博文



■ ジャイカから表敬訪問をうけます

市内在住の60歳の自動車整備士の方が、この10月から2年間、ドミニカ共和国に教官として派遣されます。ご本人の応募の理由は「60歳を過ぎ、子どもたちもみな独立し安定した生活を送るようになった今、体の健康なうちに、もう一度自分の持っている技術で開発途上国の人々の役に立ちたい」というものです。みなさん、いかがですか。技術者は羨ましいですね。JICA(独立行政法人 国際協力機構)から近く表敬訪問を受けますが、市広報紙での広報も要望されました。開発途上国の国づくり・人づくりへの技術・技能の協力は多種多様に上るようです。定年後のみなさん、選択肢の1つに加えてみてはいかがでしょうか。

■ 敬老の日について

高齢化がさらに進んでいます。市が節目としてお祝いする今年85歳になる市民は445人、95歳が71人、100歳以上が62人。凄いですね。

敬老の日にお届けするお祝いカードの作成に着手しています。ここ数年、片面に市内保育園・幼稚園の園児たちに絵を描いてもらい、裏面に私が「祝長寿」と朱筆していましたが、今春市役所に就職した書道十段の若い女子職員に手伝いを頼んだところ、「祝長寿」ではなく「感謝」にしたいというのです。参考までに理由を聞きました。「敬老の日のお祝いカードと聞き、1番に思い浮かんだのが「感謝」でした。これは、今私たちが生きている豊かな時代を作って

くださった先輩方への感謝の気持ちです。また、健康で長生きして下さるだけで元気を与えられ、私たちの支えとなっているという思いからこの言葉が思い浮かびました。辞書で調べたところ、『その存在がありがたいと思うこと』とあり、改めて私の想いにぴったりだと感じました。カードの表には、子どもたちのかわいい絵やメッセージが書かれていますので、絵を見て想いを感じ取りながら、1枚1枚「感謝」という言葉を書きました。」

みなさん、いかがでしょうか。

■ 厚狭図書館のバスツアー

「小野田市と山陽町が合併して6年が経過しましたが、小野田のことをよく知らない人が、まだまだおられます。そこで、厚狭図書館では“本山を歩こう、竜王山で遊ぼう!”と題して写真展・講演会を開催したところ、来館された方々から、本山を訪れてみたいとの声が多数寄せられました。ついては、9月16日(金)、24日(土)(定員 各18名)、9時出発のバスツアーを企画しました(参加費1,000円 昼食付)。(厚狭図書館長の報告書から)

どうぞ、ご参加ください。

※詳しくは裏面「図書館つうしん」をご覧ください。

対話の日

8月24日(水) 19:00 ~
石丸総合館

9月22日(木) 19:00 ~
県営住宅古開作団地集会所
(須恵小学校前)